

子宮がん検診

子宮頸がん※は、近年、特に20～40代前半の若い世代で増えていますが、若いうちに定期的に検診を受けることで、早期発見から治療へとつなぎ、子宮頸がんの発症まで進行することなく完治を目指す事ができます。

そのため、子宮がん検診（子宮頸がん検診）は、がん検診の中で唯一20歳からの受診が推奨されている検診です。

また、2年に1回程度の頻度で受けることも推奨されています。

※子宮がんには、子宮頸がん（子宮頸部のがん）、と子宮体がん（子宮体部のがん）と2種類に大別されます。

実施日	実施項目	料金
月曜～金曜 (午前9時～)	頸部細胞診 子宮エコー検査 診察	5,500円(税込) ※

※20歳以上の方で出雲市民・雲南市民のみなさまへ

住民検診（市の助成あり）で、子宮がん検診を受けることができます。

詳しくは、お問い合わせください。

出雲市民・雲南市民の方は、住民検診でHPV検査を受けることができます。

子宮頸がんの原因であるHPV（ヒト・パピローマ・ウイルス）は、性交経験のある女性なら一度はかかるありふれたウイルスです。感染しても多くの場合は自然消滅しますが、約1割は感染が長期化し、がんになる可能性があります。

正常な細胞が“子宮頸がん”になるまでの経過

